

## 経営健全化方針に基づく取組状況（令和５年度）

### １．令和５年度決算の状況

令和５年度の国内経済は、コロナ禍からの脱却に伴う内需の拡大やインバウンド需要の増加などを受けて景気の回復が見られたが、その回復は、円安や物価の上昇から穏やかとなった。

このような中、令和５年度は、「経営改善計画」に基づき、債務超過の解消に向けて、経営体力の維持・向上に努めながら、引き続き３船社３航路の埠頭管理業務等を行い、フェリーの円滑な運航に寄与するとともに、駐車場・シャープール等の運営を行い、人流・物流の両面から神戸港の活性化に取り組んだ。

（フェリー事業）

- ・各航路の利用状況については、旅客は令和４年度実績を上回ったが、トラックは中国の景気低迷等の影響で令和４年度実績を下回った航路があった。

（駐車場事業等付帯事業）

- ・駐車場については、中埠頭駐車場においてまとまった解約に伴い契約台数が減少したものの、青木北駐車場、各シャープールについては、順調な利用状況である。

（業務体制の適正化・効率化）

- ・令和４年度に引き続き、「経営改善計画」に基づき、役員報酬、管理職手当の見直しを行い、賞与（夏季・冬季）の削減を行い、債務超過を縮小した。

< 損益計算書から >

| 項 目   | 金 額（千円） |         |         |
|-------|---------|---------|---------|
|       | 令和３年度   | 令和４年度   | 令和５年度   |
| 経常収益  | 741,211 | 783,949 | 822,375 |
| 経常費用  | 729,002 | 742,433 | 772,639 |
| 経常損益  | 12,209  | 41,516  | 49,737  |
| 経常外損益 | 0       | 0       | 0       |
| 当期純損益 | 11,874  | 36,508  | 30,604  |

<貸借対照表から>

| 項 目           | 金 額 （ 千 円 ） |         |         |
|---------------|-------------|---------|---------|
|               | 令和 3 年度     | 令和 4 年度 | 令和 5 年度 |
| 資産総額          | 135,336     | 181,191 | 207,882 |
| （うち現預金）       | 74,596      | 122,607 | 151,562 |
| （うち売上債権）      | 14,033      | 16,009  | 16,153  |
| （うち棚卸資産）      | 0           | 0       | 0       |
| 負債総額          | 213,082     | 222,429 | 218,516 |
| （うち神戸市からの借入金） | 0           | 0       | 0       |
| 純資産額          | ▲77,746     | ▲41,238 | ▲10,634 |

## 2. 経営健全化方針に基づく主な取組状況

### (1) 法人自らによる経営健全化のための具体的な対応

#### ア フェリー関連業務

- ・各船社と協力しながら利用客の増加に向け取り組んでいる。
- ・令和4年度以降、大型化した新船の就航、また、それに伴う神戸三宮フェリーターミナルの拡張により、効率的な運営体制の構築が必要とされたことから、担当船社間の相互支援体制の整備、業務内容の精査・見直しを行っている。

#### イ 駐車場事業等付帯事業

- ・駐車場、コイン洗車場利用者の確保やシャープールの契約台数の維持に努めている。

#### ウ 業務の効率化等

- ・総人件費抑制の観点から、管理職手当、役員報酬、賞与等の人件費の削減を継続するとともに、パート・アルバイトの有効活用等、人員配置の弾力的な運用を図っている。
- ・令和4年7月、早期に経営改善を進め、安定的な経営基盤を構築するため、「経営改善計画」を策定。取組を進めた結果、令和3年度時点で約78百万円あった債務超過は、令和5年度時点では約11百万円まで縮小した。

### (2) 神戸市による財政的なリスクへの対応のための対応

- ・令和3年8月に市が策定した「外郭団体の抜本的な見直し方針」に基づき、(株)神戸フェリーセンターに対して毎年度ミッションを提示し、そのミッションを達成するための「経営改革プラン」の策定を求めている。また、ミッションの達成に必要な指導・支援を行うとともに、経営改革プランの進捗状況について、評価・検証を行うこととしている。

#### ○中長期的なミッション

『抜本的な経営改善による経営健全化』

#### ○短期的なミッション（令和5年度）

『経営改善計画の着実な実行』